



2020年6月12日

各 位

会 社 名 プ リ ン ト ネ ッ ト 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 田 原 洋 一
(コード番号：7805 東証JASDAQ)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 部 長 赤 江 地 衣
(TEL. 03-3217-5355)

2020年10月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び

2020年10月期通期業績予想修正に関するお知らせ

2019年12月13日に公表しました2020年10月期第2四半期累計期間（2019年11月1日～2020年4月30日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたこと、また最近の業績動向等を踏まえ、2020年10月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2020年10月期第2四半期（累計）業績予想数値と実績値との差異（2019年11月1日～2020年4月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 4,575	百万円 14	百万円 17	百万円 12	円 銭 2.21
実績 (B)	4,311	△17	△11	△40	△7.54
増 減 額 (B-A)	△263	△32	△29	△52	—
増 減 率 (%)	△5.8	—	—	—	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2019年10月期第2四半期)	4,080	63	66	35	6.57

(差異の理由)

売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大により、印刷需要が低下したため、前回公表予想を263百万円下回りました。

損益面については、1年ほど前から高騰していた印刷用紙の単価が徐々に下落しているものの、当初当社が想定していたペースよりも遅くなっております。コスト削減として、残業代を中心とした労務費の削減などを行いました。また、営業利益、経常利益ともに前回公表予想を下回りました。また、特別損失として、統廃合を予定している関西工場及び東京デジタルセンターの設備について減損損失62百万円を計上したこと等により、四半期純利益も前回公表を下回りました。

2. 2020年10月期通期業績予想数値の修正（2019年11月1日～2020年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 9,132	百万円 45	百万円 51	百万円 44	円 銭 8.20
今回修正予想（B）	未定	未定	未定	未定	未定
増減額（B－A）	—	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—	—
（参考）前期実績 （2019年10月期）	8,097	△47	△39	2	0.42

（修正の理由）

新型コロナウイルス感染症の影響として、国内の印刷需要の落ち込みから、当社のここ数か月の売上高は前年同月と比べ、2月は約13%増加の757百万円、3月は約1%減少の795百万円、4月は約22%減少の496百万円、5月は約15%減少の458百万円となっており、回復傾向ではあるものの、印刷市場回復の見通しが立っていないことから、今後の売上高を見積もることは困難な状況であります。

以上のことから、2019年12月13日に公表しました通期業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただき、算出が可能となった段階で速やかに公表させていただきます。

以 上